

「介護実習」シラバス

学科	総合学科	学年	1 年	類型		組	7 組	単位数	1
使用教科書									
副教材等	介護実習オリエンテーション資料								

1 学習の到達目標

① 介護実習を通して、サービス利用者の状態に応じたコミュニケーション及び介護に必要な知識を理解し、関連する技術を身に付ける。
② 多様な介護の場における実習について課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいた創造的に解決する力を養う。
③ 介護実習を通して施設の概要や、サービス利用者の状態について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習評価

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技術	・ サービス利用者の状態に応じたコミュニケーション方法について理解している。また、関連する技術を身に付けているか。	(2)(3)
思考・判断・表現	・ サービス利用者とのコミュニケーションにおける課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力が養われているか。	(2)(4)(5)
主体的に学習に取り組む態度	・ サービス利用者とのコミュニケーションや介護技術を習得するために自ら学び、実習施設の概要やサービス利用者を理解するために主体的・協働的に実習に取り組もうとしているか。	(1)(3)(4)(5)(6)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)自己評価の実施 (2)実習中の活動状況等	
課題などの提出状況	(3)課題等の提出状況 (4)ノート・学習ワーク等の提出状況	
言語活動の観察	(5)グループワークなどへの取組状況 (6)発表の様子	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期			
二 学 期	1 コミュニケーションの 実践 2 介護技術の実践 3 多職種協働及びチーム ケアの理解	・施設の概要やサービス利用者について理解する。 ・サービス利用者とのコミュニケーションに関する課題を発見し、科学的根拠に基づいた方法を考案する。 ・サービス利用者の状況を確認し、科学的な根拠に基づいた介護技術の実践を行う。 ・地域の施設における生活支援について自ら学び、生活を支える介護技術に主体的かつ協働的に取り組む。	(5)(6)
三 学 期			

備考 (1)(2)(3)(4)は、全ての単元において評価項目として用いる。